



International Jazz Day

びわこジャズ東近江

BIWAKO JAZZ HIGASHI-OMI

2025

事業計画書

4月26日(土) 27日(日)

東近江市役所～近江鉄道八日市駅周辺



www.biwako-jazzfes.com

tel.0748-25-0125 / fax.0748-25-0124

主催：びわこジャズ東近江実行委員会 / 協力：八日市商工会議所



biwakojazz

◆ 事業理念

地域とともに、地域の良さを活かして

私達のふるさと、東近江を素敵な音楽でいっぱい楽しく住みよいまちにしていきたい

音楽という文化には国境や世代を越えることのできる平和の象徴ともいえる力があります。

また各地で盛り上がりを見せているまちかどを使った音楽イベント… その感動は老若男女を問わない誰もが自然に参加できるすばらしいものです。

駅前のスペースや各商店まちのまちかど、公園や各施設にご協力をいただき、まち全体をステージに見立て、いつものまちをぶらりと歩く。…案外見当たらなかったものがふと顔を見せてくれたりするものです。

古きよき音楽と、新しい可能性に満たされた音楽との融合があり、季節の風を感じてまち全体がいきいきと変わっていく…そんなまちづくりをしていきたいと思えます。



◆第 17 回 びわこジャズ東近江 開催テーマ

『 Jazz up ! 』

びわこジャズ東近江は「私たちのふるさと東近江を素敵な音楽でいっぱいの楽しく豊かなまちにしていきたい」という思いを込めて、2009年にスタートし、おかげさまで今年、17回目を迎えます。これもひとえに、出演者の皆様、地元企業の皆様、ボランティアの皆様、そしてイベントを楽しみにして下さるすべての皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

2009年の初開催以来、地元を中心に多くの皆様に支えられ、地域の音楽文化とコミュニティの発展に寄与してまいりました。コロナ禍においては、イベントの中止を余儀なくされた時期もありましたが「音楽の力で地域を元気にしたい」という信念を持ち続け、活動を続けてきました。困難な状況でも、私たちはジャズの即興性と柔軟性に学び、常に前向きにチャレンジを続けることの大切さを感じて活動してきました。

2025年は、東近江市が市制20周年という大きな節目を迎える年です。この特別な年にふさわしく、今年のびわこジャズ東近江は『Jazz up!』を開催テーマに掲げました。

Jazz upとは、英語で「活気づける・盛り上げる」という意味で、ジャズの持つ自由で即興的なエネルギーを通じて、東近江市の市制20周年を祝うと同時に、未来に向けてまちやコミュニティをさらに活気づけたいという思いを込めています。

第17回目の開催を通じて、私たちは音楽の力で東近江市をさらに元気にし、地域の皆様に笑顔とエネルギーをお届けしたいと願っています。びわこジャズ東近江は、これからも音楽を通じて地域の皆様を繋ぎ、文化と交流を深める場を提供していく所存です。

皆様には、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。そして、びわこジャズ東近江2025が、東近江市の20周年を華やかに彩り、皆様にとって心に残る特別な時間となることを心より願っております。

びわこジャズ東近江実行委員会
実行委員長 森 鉄兵

◆ 開催概要

- 日時 1日目 2025年4月26日(土)
2日目 2025年4月27日(日)
- 場所 滋賀県東近江市(近江鉄道 八日市駅～東近江市役所周辺一帯)
- 交通 JR琵琶湖線「近江八幡駅」下車→近江鉄道乗換え「八日市駅」下車
- ステージ 東近江市市街地を中心に全40ステージ(2日間延べ数) ※予定
- 出演者 約200組 ※予定 (2日間延べ数)
- 主催 びわこジャズ東近江実行委員会
- 協力 八日市商工会議所
- 後援(予定) 東近江市・東近江市教育委員会・東近江市観光協会
滋賀報知新聞社・滋賀県中小企業家同友会
東近江ケーブルネットワーク株式会社
- ウェブサイト <https://biwako-jazzfes.com>

◆ 開催コンセプト

普段のまち並みがステージです

駅前から市役所へ向かう並木道(グリーンロード)を中心としたまちそのものがステージです。

飲食店や駅前道路、病院や公園、広場がその日だけのステージとなります。



すべてが手作り 参加者みんなで作っています

音楽を演奏するのが好きな人、音楽を聴くのが好きな人に支えられ、学生を含む一般ボランティアで運営しています。昔からのお祭りがそうであったように、すべて手作りで行われています。



みんなの笑顔に支えられて行われています

当日は500名以上のボランティアの方々を支えていただいています。自分達のまちのために笑顔で取り組める…そんな素敵なまちに誇りを持って多くのお客様をおもてなしします。



◆ びわこジャズ東近江の歴史

びわこジャズ東近江は、2009年に「びわこジャズフェスティバル in 東近江」として始まりました。

第1回は地元経済団体の記念事業としてスタート。回を追うごとにステージ会場を増やし、演奏だけでなくサブ会場のフリマや地元企業ブース、歩行者天国、地域スポーツチームとのコラボ、前夜祭など、様々な試みを通じて現在の原型を形作っていきました。第3回開催直前には東日本大震災が発生。こんなときだからこそ盛り上げようと奮起し、被災地への募金活動や、楽器の寄付活動も行いました。

第1回 2009年
4月5日(日)



第2回 2010年
4月18日(日)



第3回 2011年
4月24日(日)



第4回より2日間開催へ。

先輩の他府県のジャズフェスに倣って、第4回から2日間開催になりました。第5回では、未来を担う若者達の音楽のレベル向上をめざした10代メンバー限定のコンテスト「ティーンズバトル」を初開催。ダンスステージ、てづくり市などの企画もこの頃から始まりました。

第4回 2012年
4月14日(土)・15日(日)



第5回 2013年
4月20日(土)・21日(日)



第6回 2014年
4月19日(土)・20日(日)



第7回 2015年
4月18日(土)・19日(日)



「びわこジャズ東近江」に改称し、現在へ。

実行委員長の交代とともに、さらなる発展を期して第8回より現在の名前に改称しました。ジャズフェスとしての内容の充実だけでなく、若い世代に向けた「ストリートチャレンジ」や、地域資源の充実を目指す「パンフェスティバル」など新しい試みにも挑戦しました。

第8回 2016年
4月23日(土)・24日(日)



第9回 2017年
4月22日(土)・23日(日)



第10回 2018年
4月29日(日)・30日(月)



第11回 2019年
4月28日(日)・28日(月)



第12回 2020年4月25日(土)・26日(日)

第13回 2021年6月5日(土)・6日(日)

→9月19日(日)・20日(月)に延期

新型コロナの影響により開催中止



第14回 2022年9月24日(土)・25日(日)

新型コロナウイルスによる2回の中止を経た第14回。テーマを「再発見」とし、万全の感染対策で、例年と変わらない開催規模を目指して、開催時期もコロナの波を見据えて初の秋開催としました。ジャズトレインも復活し、2日間ののべで、ステージ数39、約200組の出演者、ボランティア参加者約300名、約35,000名にご来場いただきました。



第15回 2023年4月29日(土)・30日(日)

15周年を迎え、新型コロナウイルスによる中止から明けた前を経て、名実ともに通常の生活に戻る思いを込めて、例年通りの春開催としました。周年での「とび太くん」コラボや、地元団体との連携などを推し進め、運営体制の強化を図る試みなども行いました。多少の雨にも見舞われましたが、2日間ののべで、ステージ数42、約200組の出演者、ボランティア参加者約550名、約35,000人にご来場いただきました。



第16回 2024年4月27日(土)・28日(日)

第16回のテーマは「Joy Spring」とし、東近江の春の街歩きをお楽しみいただきました。今回の新たな試みとしてはオープンマイクステージ、アイドルステージのほか、地域商工会と連携し「女性のための創業塾チャレンジショップ」を開催。初日は雨に見舞われつつも2日間ののべで、ステージ数約48、約240組の出演者、ボランティア参加者約500名、約36,000人にご来場いただきました。



実行委員募集中!

びわこジャズ東近江実行委員会では次回開催および第20回を見据えたサステナブルな運営のための実行委員を募集中です。楽器ができるかなどは関係なく、音楽が好きで、びわこジャズ東近江と一緒に盛り上げたいという方々をお待ちしています。

活動内容など詳しくはウェブサイトの各種募集ページをご覧ください。Facebook等のSNSでもお問い合わせいただけます。



